



東久留米市環境政策課  
一般社団法人公園とまちづくり

令和8年3月発行

こどもの目線で考える東久留米市の公園のはなし



ひがし く る め し  
東久留米市の  
こ う えん はな  
公園の話し

小学生向け  
for Kids

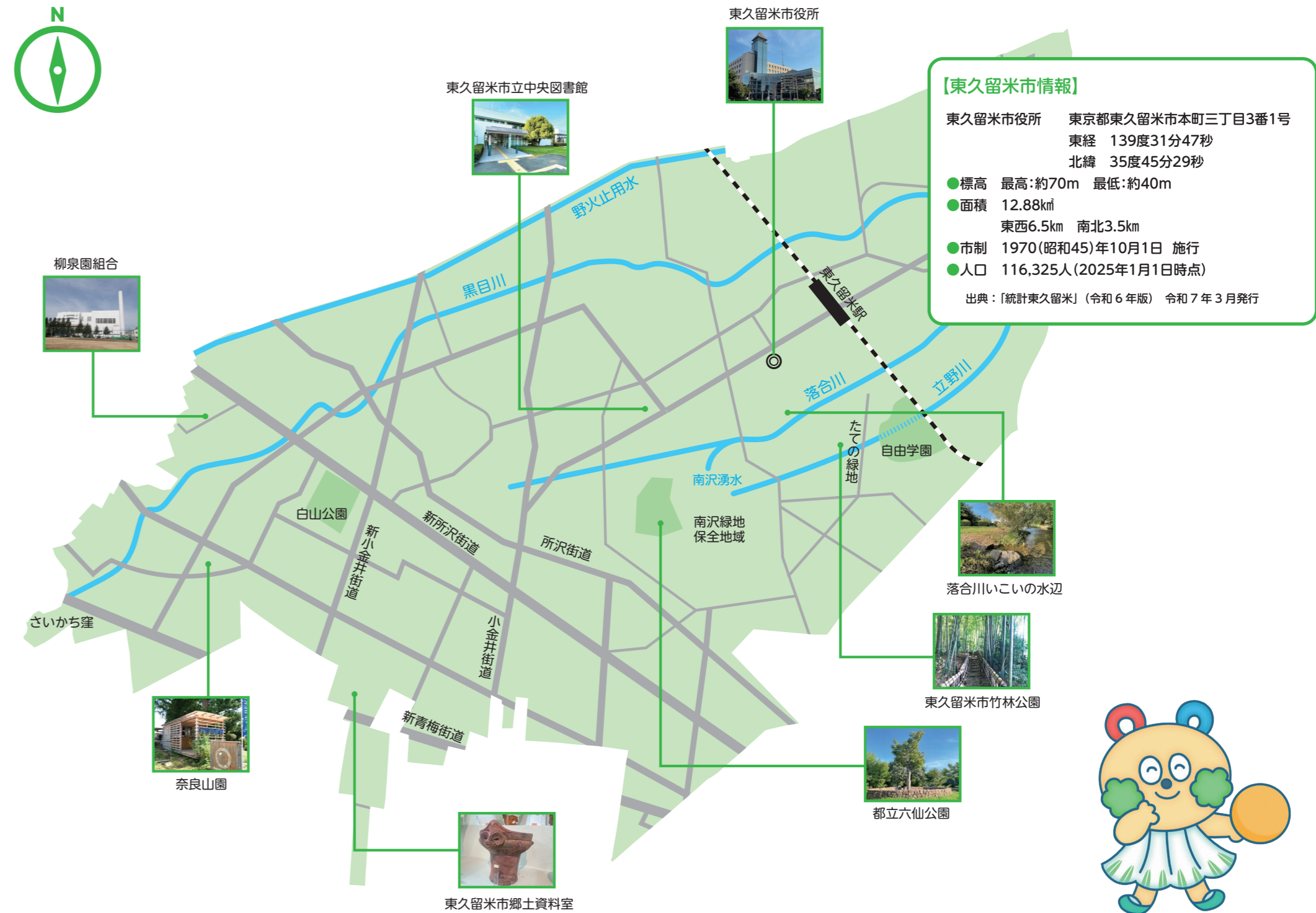


# はじめに ———— ひがし く る め し 東久留米市はこんなところ

東久留米市は、東京の北西にあるまちで、大きさは 12.88 平方キロメートルです。人口は約11万6千人、5万7千世帯がくらしています。まちは少し高いところから低いところへなだらかに傾いていて、川や小川が流れ、きれいな湧き水があちこちに見られます。黒目川や南沢の湧水は「東京の名湧水57選」や「平成の名水百選」に選ばれ、多くの人が水あそびや散歩に訪れます。

市の南のほうには広い農地があり、野菜や果物、花をそだてています。市内には85か所ほどの直売所があり、「農さんぽマップ」で紹介されたり、市役所で農産物の直売会がひらかれたりして、だれでも地元の農業に親しめます。

また、滝山団地やグリーンヒルズ東久留米など大きな団地もあり、都心への交通が便利なので、家族でくらす人が多いベッドタウンとして人気です。公園は全部で152か所あり、自然と人のくらしがどちらも大切にされているまちです。



**【東久留米市情報】**

東久留米市役所 東京都東久留米市本町三丁目3番1号  
 東経 139度31分47秒  
 北緯 35度45分29秒

- 標高 最高:約70m 最低:約40m
- 面積 12.88km<sup>2</sup>  
東西6.5km 南北3.5km
- 市制 1970(昭和45)年10月1日 施行
- 人口 116,325人(2025年1月1日時点)

出典:「統計東久留米」(令和6年版) 令和7年3月発行



# 知っておこう — ひがし く る め し 東久留米市の公園の現状

ひがしくるめ  
東久留米市には152か所の公園がありますが、そのうち116か所は小さくて、学校の校庭よりもずっと小さい公園です。これらの公園は、高度経済成長期とよばれる、昔の日本がとても元気だったころにつくられました。そのため、すべり台やブランコなどの遊具が古くなっていて、こわれたりサビたりしていて、あぶないものもあります。

ほんとうは遊具を新しくしたいのですが、市のお金(財政)が少なくなってきているので、すべての公園をなおすのはむずかしいのです。さらに、ボールで思いきり遊べる広い公園はとても少なく、こどもたちがのびのび遊ぶ場所が足りないのも大きな問題です。



東久留米市  
152か所の公園分布

※イメージ図

なるほど！

# 解決策から生まれる好循環

公園の問題を市だけで解決するのはむずかしいので、これからは会社やお店の人たちのアイデアやお金の力もかりていきます。そうすると、公園でできることがもっとふえていきます。

公園は「市のもの」だけではなく、会社やお店、そして「やってみたい」と思う市民のみなさんもいっしょに使える場所にかえていきます。つまり、市民も公園をじぶんたちで活用できる仕組みを作るのです。

さらに、公園でイベントをしたりお店を出したりして「お金が生まれるしくみ」を作ります。そのお金をつかって遊具をあたらしくしたり、花や木をきれいにしたりして、公園をもっと楽しく、気持ちよくすごせる場所にしていきます。



行政



民間



市民



民間

公園で  
飲食店をやって  
その利益を  
公園に返したい

カフェを経営。  
利益で公園を豊かに

移動式の  
本屋さんを誘致

市民が手伝う  
人が集う本屋さんが  
あるといいね！



市民

みんなの  
アイデアが  
良い公園に  
していくんだね



障がいの方も使える  
遊具を設置

障がいのある  
人たちも  
平等に使える  
公園にしたいな



行政

# 聞いてみよう——市民からの声



市民からの意見を聞き、これから先の50年を見すえて、東久留米市の公園をどうしていくかを考えました。  
 いまある市や地域のもんだいをしっかりと解けつして、公園をもっと上手に使えるようにするために、  
 3つの観点を定め、大きく5つのやり方を決めました。

## 3つの観点

- ① 公園のいいところをもっと大きくする
- ② 会社やお店の人たちと、もっといっしょに力を合わせる
- ③ 公園をもっと自由に、いろいろな使い方ができるようにする

- ① まちの拠点となる公園をしっかりと整えて、みんなが安心して遊べるようにする。
- ② 地域や市のもんだいを、公園の運営を工夫していっしょに解決していく。
- ③ Park-PFI・指定管理者制度など民間の力を借りて、公園をもっと楽しくする。
- ④ ボール遊びができる公園や場所をふやして、思いきり体を動かせるようにする。
- ⑤ 地域の人とよく話し合っって、公園を上手に作りかえたりまとめたりしていく。

## 東久留米市の5つの方針



# 基幹公園をしっかりと整えて、 みんなが安心して遊べるようにする

## 基幹公園ってなに？

まちをいくつかのエリアに分けて、そのエリアごとに大事な中心となる公園のことで、ここを「拠点」にして、会社やお店の人たちがそのエリアの公園をまとめて管理したり、運営したりします。つまり、みんなの公園をよりよくするための「中心になる公園」です。



東久留米市には、きれいな水や広い農地、むかしからの文化など、その土地ごとにちがった宝物のようなものがあります。拠点となる公園をつくる時には、その地域ごとの良さをいかすことが大切です。



## 【東西南北エリアの特徴】

黒目川より北のほうで、坂やせまい道が多く、歩いたり車で動くのが大変な地域です。広い空き地や公園も少なく、子育てやお年寄りのための施設が足りないことが問題です。これからは地域の良さをを見つけ直して、特色ある公園を作っていくことが大切です。

白山公園や滝山公園など、大きめの公園が集まっていて、公園の数や広さではめぐまれています。



## 拠点となる公園をつくるときに 大事な3つのこと

- ①公園を使って、地域のもんだいを解決したり、市民がもっと安心して楽しくすごせるようにすること。
- ②市役所のお金や人の仕事をへらして、むだを少なくできること。
- ③拠点となる公園がまちの中心になって、いろいろな人が集まり、地域全体の魅力を高められること。

東京ドームスポーツセンター東久留米や下谷公園など、人があつまる場所があります。まわりの施設と協力して、公園をうまく使えるように考えていくことが必要です。

自然がゆたかで、大きな畑や雑木林が広がっています。とれたての野菜などは市民に親しまれていますが、土地を手わたすことで畑や緑が減ってしまう心配もあります。「農業」をいかした公園づくりが求められています。

エリアによって  
違いがあるのね！



## 2 地域や市の問題を、公園の運営を工夫して いっしょに解決していく

### 東久留米市の公園の課題とこれから

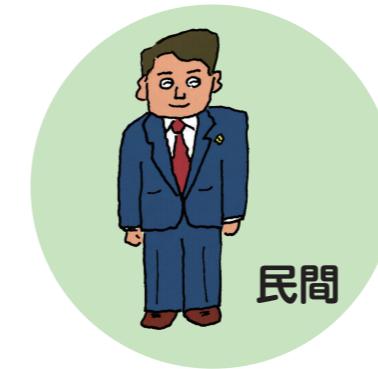
東久留米市の人たちは、「公園と農業をあわせて使えるといいな」「地域の宝物と公園をいっしょに生かしたい」という思いを持っています。さらに「地震や水害などにそなえて、防災に役立つ公園になってほしい」という声も多いです。公園だけでなく、ほかの公共の施設と力を合わせて使えるようにしたい、という願いもあります。

そして、みんなが「このまちがもっと好きになれる公園」「よりよいまち」になることを望んでいます。

でも、東久留米市の人口がへっていくと、市のお金も少なくなり、公園を管理する人もへってしまいます。だから市が持っている公園や施設を、上手に・むだなく管理していくことが大切になります。

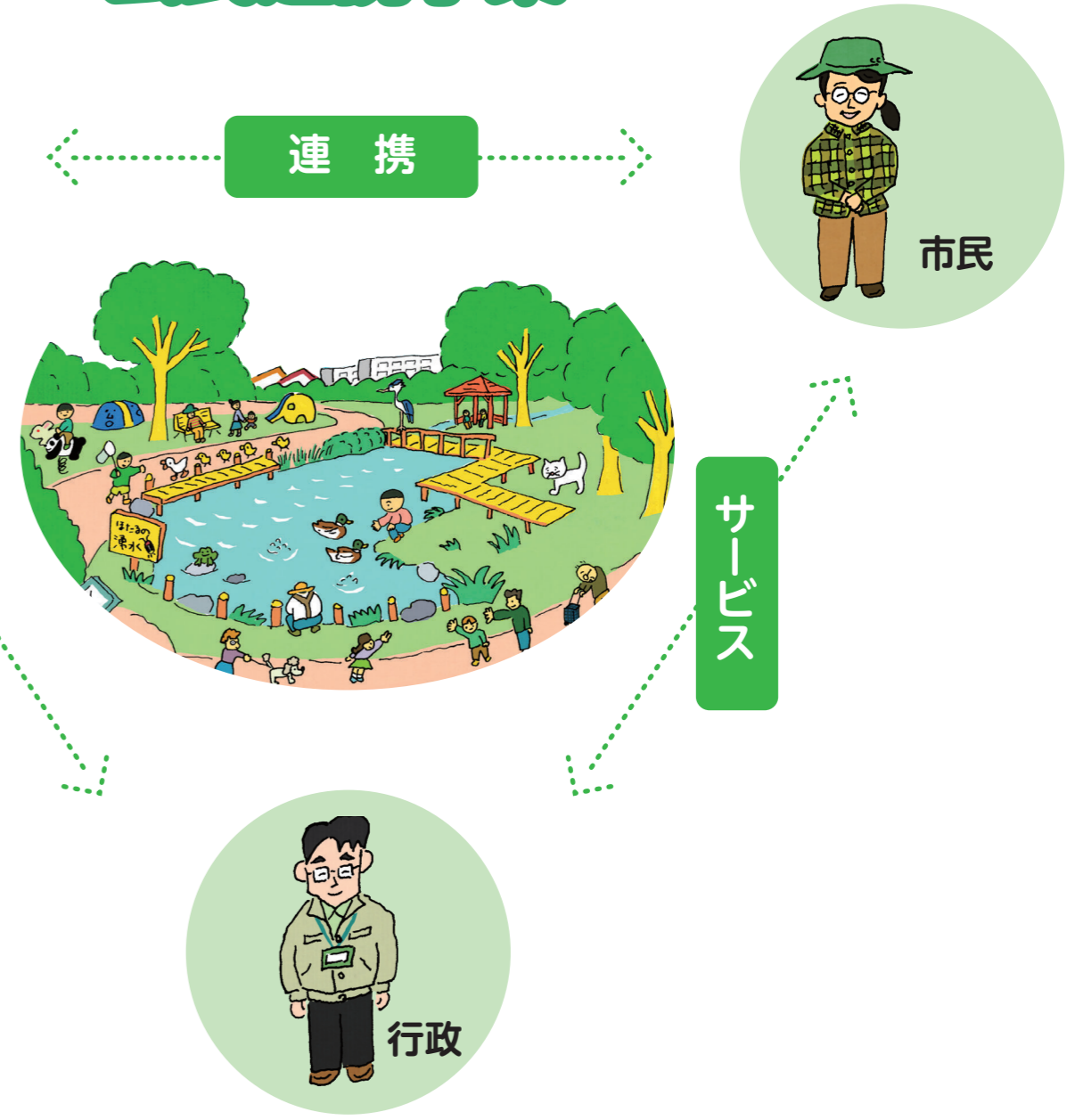
そのために、市だけでなく、会社やお店の人、そして市民がいっしょに協力して、公園を運営するしくみが必要です。

これを「公民連携事業」といい、地域のみんなで公園をまもり、育てていく新しいやり方です。



民間

### 公民連携事業



市民



行政

## Park-PFI・指定管理者制度など 民間の力を借りて公園をもっと楽しくする

### Park-PFI (パーク・ピー・エフ・アイ) ってなに？

市が募集して選んだ会社やお店の人が、公園の中にレストランや売店などを作って、来た人がもっと便利に楽しく使えるようにする仕組みです。

つまり、公園の中にお店を作ることでお金生まれ、そのお金で公園全体をよくしていく方法です。こうすると市役所のお金の負担が少なくなり、会社やお店の力を生かして、公園をもっとすてきな場所にすることができます。



### し て い か ん り し ゃ せ い ど 指定管理者制度ってなに？

ふつうは市役所が管理している建物や施設を、会社やお店の人たちにまかせて運営してもらう仕組みのことです。こうすることで、市は お金や人の力をへらせて、しかも市民にとってもっとよいサービスをできるようになります。

東久留米市でも、すでにいろいろな施設がこの制度で動いています。たとえば、市民プラザ、地域センター、地区センター、児童館、自転車の駐輪場、スポーツセンター、生涯学習センター、図書館などです。いまは 8 つの会社が市といっしょに、これらの施設を管理しています。



市民プラザ

### き ぎ ょう 民間企業を使うと何ができるの？

例えば…

- ・みんなで集まっておしゃべりしたり休けいできる場所(オープンカフェ、マルシェなど)
- ・体を動かして元気になれる場所(かけっこ教室、キャッチボール、ヨガなど)
- ・自然の中で遊べる体験(たき火、バーベキュー、キャンプなど)
- ・農業や花にふれられる場所(野菜の直売、バラ園、ハーブガーデンなど)

こうした工夫で、公園がもっと「楽しい!」「気持ちいい!」と思える場所になり、いろいろなイベントもできるようになります。



農業や花にふれられる場所

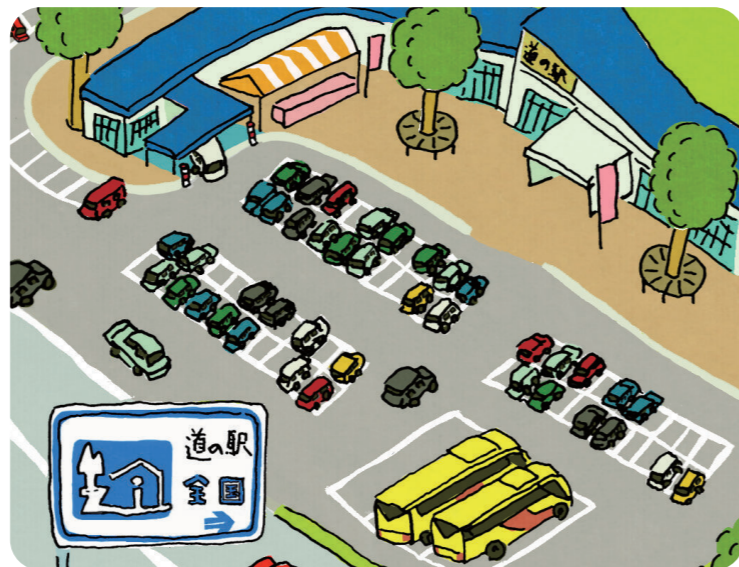
## 道の駅との共存の可能性

### 道の駅といっしょにできること

公園は、ただ遊ぶだけの場所ではなく、ほかの公共の施設と組み合わせて使える場所になるかもしれません。市民のみなさんからも「東久留米のいいところである湧き水や畑をもっと発信してほしい!」という声があります。市役所、国、会社やお店の人、地域の人や団体、そして道の駅など、いろいろな人たちが力を合わせることで、公園を使った「観光」や「地域のにぎわい」につなげることができます。

### 道の駅ってなに?

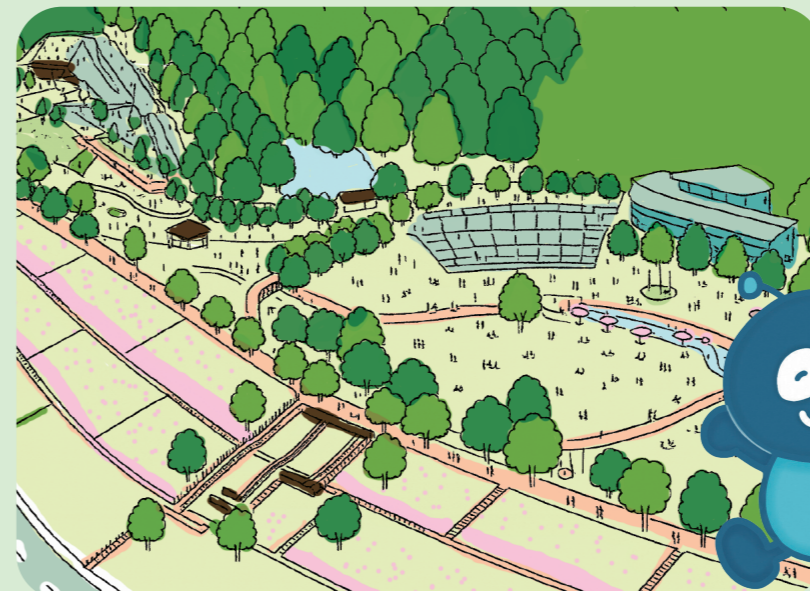
「道の駅」は、車で旅行したりおでかけした人が、気軽に休けいできる場所です。トイレや休けい所があって、安全にドライブできるように作られています。それだけでなく、その地域でとれた野菜やくだもの、おみやげなどを買えるお店や、レストランがあることも多いです。イベントがひらかれたり、地域の人とふれあえる場所にもなります。つまり「道の駅」は、休けいできるだけでなく、その地域のいいところを楽しめる場所なんです。



## ほかの地域の道の駅の紹介

### わかやま 和歌山県・道の駅 四季の郷公園

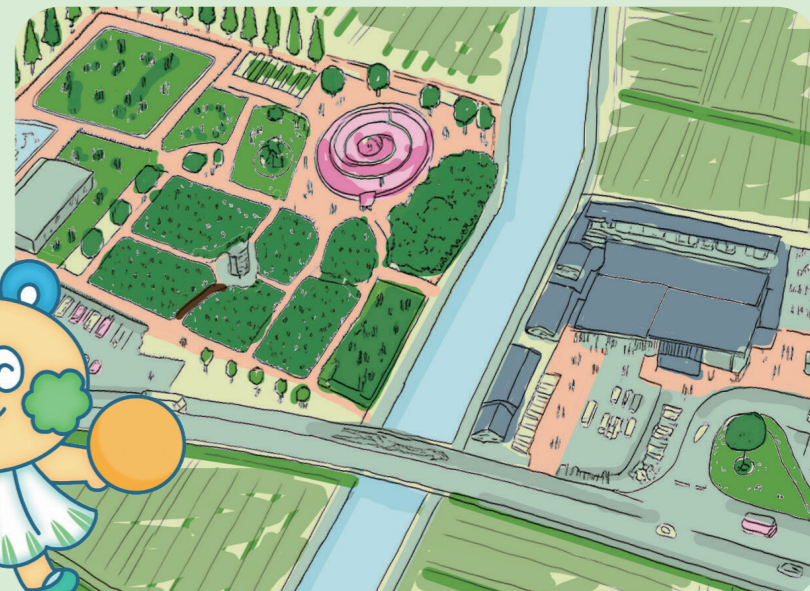
ここでは、農業や観光だけでなく、子育ての応援や地域のお年寄りを助ける取組みもしています。大雨や地震のときに役立つ防災のしくみ、地域の文化を大切にす工夫もあって、みんなの暮らしをささえる道の駅です。



(イメージイラスト)

### あいち 愛知県・道の駅 立田ふれあいの里

この道の駅では、泊まれる施設があり、たき火でバーベキューもできます。新鮮な野菜やお肉を買えるお店もあり、山や自然のアップダウンをいかして子どもが自由にあそんだり、考えたりできる場所になっています。犬といっしょに楽しめる広場(ドッグパーク)もあります。



(イメージイラスト)

楽しいアイデアがいっぱい...

# ボール遊びができる公園や場所をふやして 思いきり体を動かせるようにする。

## ボール遊びができる場所をつくる

東久留米市では、こどもたちが安心してボール遊びできる公園をつくることをとても大事にしています。令和8年度までに、この「ボール遊びができる場所づくり」を進めています。

この取組みは、こどもだけでなく、お父さんやお母さん、そしてたくさんの大人からも「こどもが安心して遊べる場所がほしい」という強い願いがあります。

ただし、公園のまわりには住宅もあるので、近くに住民たちに迷惑がかからないように工夫しながら作ることが大切です。



## ボール遊びのできる かんきょうせいび 環境整備

東久留米市では、市内にある12の小学校の学区ごとに、すくなくとも1つはボール遊びができる公園を作ろうとしています。

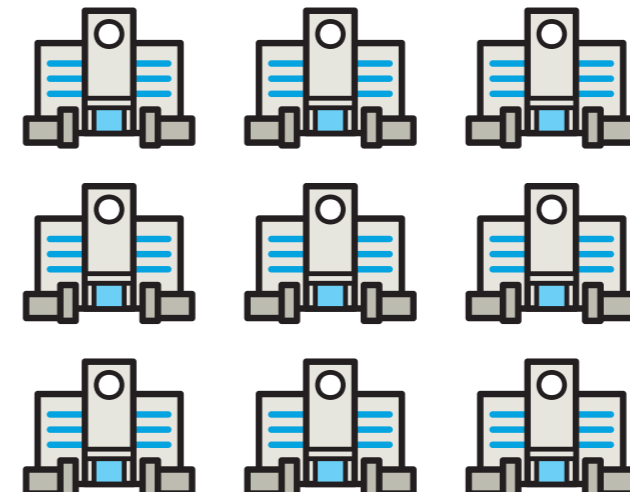
たとえば、南町公園では令和5年度に防球ネット(ボールが外に飛んでいかないようにするネット)がつけられました。

いまは、もう9つの学区でボール遊びができる場所が整っていて、残りの3つの学区でも新しく作ることを考えているところです。

防球ネットを  
整備予定の学区



ボール遊びが  
できる学区



## ボール遊びができる 公園にほしいもの

- 野球、サッカー、バスケットボールなど、いろいろなスポーツをバランスよく練習できる場所。
- 草がすぐにのびない人工芝などで、いつもきれいに遊べる場所。
- 大きな音が外にひびきにくい工夫がある公園。
- 行きやすくて、人気のある公園に人が集まりすぎないように分けて遊べる公園。
- ボール遊びをする場所と、すべり台やブランコなどの遊具で遊ぶ場所が分かれている公園。
- みんなが安心して遊べるように広さのある公園。
- 自転車をとめるスペースがある公園。



# 5 地域の人とよく話し合っ、公園を上手に 作りかえたりまとめたりしていく

## ストック再編ってなに？

公園の広さをへらさないで、市民のいろいろな希望に合わせて、公園をまとめたり、役わりを見直したりすることをストック再編くたいてきといいます。とくに大切なのは、近くに住む人の声をしっかり聞いて、いっしょに考えていくことです。具体的なやり方は4つあります。

### 1 維持・活用

今ある公園を大切に守り、イベントなどしながら長く使えるようにします。



### 2 再整備

市民の声に合わせて、遊具をなおしたり新しくしたりして、公園をもっとよくなっていきます。



### 3 統合・集約

公園の広さは市全体でへらさないで、公園どうしをまとめて、役わりを分けたり広さを工夫したりして、みんなが使いやすい公園にします。



### 4 用途変更

もし公園よりも他の使い方のほうが市民のためになるときは、公園ではなくちがう施設にかえることも考えます。



## 小さな公園をもっと活かす3つの考え方

### 1 みんなでつくる公園

ちいき地域の人たちといっしょに、その場所ならではの小さな公園やみどりの場所をつくる。(たとえば花や野菜を育てる「コミュニティガーデン」など)

### 2 地域でまもる公園

ちいき地域の人各自が自分たちで公園のルールを考えたり、お世話をしたりして、そのちいき地域に合った公園にしていく。

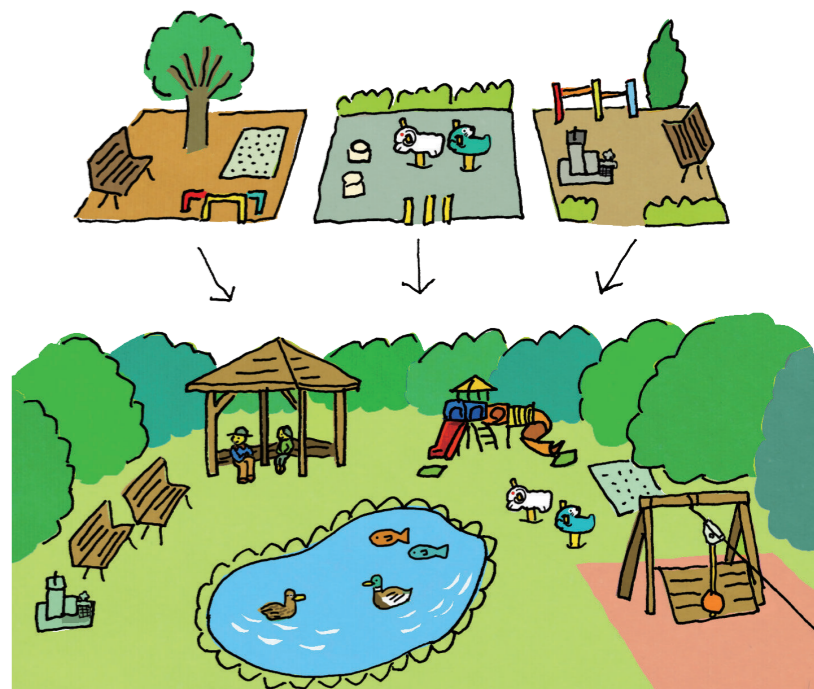
### 3 公園以外の使い方も考える

ときには「この場所は公園じゃなくて、ほかの役立つ使い方をしたほうがいいのでは？」という考えも出てきます。そのために、使い方を広げられるように工夫します。

#### 公園を上手に作りかえまとめた例

#### 小さな公園をなくして大きな公園に

全国ではまだ少ないけれど、福岡県北九州市ではこんな取り組みがありました。ここでは、いくつもあった小さくてせまい公園をなくして、そのかわりに「吉志ゆめ公園」という大きな公園を新しく作りました。この公園では、大人はグラウンドゴルフやウォーキングを楽しめて、子どもたちは広い広場で思いきり遊ぶことができます。小さな公園はなくなったけれど、新しい大きな公園ができたことで、市民のみんなが「前より便利で楽しい！」と満足するようになりました



ひがし く る め  
東久留米市の公園のこれから

これからの東久留米市の公園は、まちの未来をつくる大切な場所へと変わっていきます。市役所だけでなく、地域の人や子どもたち、お店や会社など、いろいろな人が公園づくりに関わり、みんなでよりよい公園を育てていきます。

未来の公園では、季節のイベントやマルシェ、スポーツ活動などが開かれ、人が自然に集まる楽しい広場になります。こうした場が生まれることで、地域のつながりも強くなり、まちはさらに明るくなります。

また、東久留米市ならではの自然や農地を生かした公園も増えます。湧き水の観察や野菜づくりの体験など、遊びと学びが一緒に楽しめる場所が広がり、子どもたちの「やってみたい！」を刺激します。

スポーツを楽しめる公園もふえ、ボール遊びやランニングなどが安心してできるようになります。親子や友だちと体を動かす楽しさが、公園からどんどん広がっていきます。

そして未来の公園は、「このまちでよかった」と思える場所になります。友だちや家族との思い出、花や自然とのふれあいなど、小さな幸せが積み重なり、公園はまちの宝ものになります。公園が元気になるほど、東久留米市の未来も明るく、楽しいものになっていきます。

